

# MRAPID

## 青森県感染症発生情報

Monthly Report on Aomori Prefectural Infectious Disease

青森県感染症情報センター

(青森県環境保健センター内：担当 微生物部)

2006年3月 (2006年4月14日発行)

TEL 017-736-5411 FAX 017-736-5419

青森県環境保健センターホームページ

<http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html>

### 1. 第9週から第13週(2月27日~4月2日)までの動向

1) STDは昨年2月に比べて患者数が増加しました。特に20代前半の女性の患者数が増加しましたが、40代の男性の患者数はやや減少しました。また、疾病別では、性器ヘルペスウイルス感染症が減少し、性器クラミジア、尖圭コンジローマ、淋菌感染症が増加しました。

### 2. STD発生状況

#### 1) 保健所管内別

	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
75 性器クラミジア	6	2.00	9	3.0	7	3.50			5	2.50			27	2.08
76 性器ヘルペス			3	1.0	1	0.50	2	1.00	1	0.50			7	0.54
77 尖圭コンジローマ	5	1.67	1	0.3	1	0.50	1	0.50	1	0.50			9	0.69
78 淋菌感染症	4	1.33			6	3.00			1	0.50			11	0.85

#### 2) 年齢別・性別

年齢	75 性器クラミジア		76 性器ヘルペス		77 尖圭コンジローマ		78 淋菌感染症		青森県計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0~1										
1~4										
5~9										
10~14										
15~19		4								4
20~24	2	10		1	2	3	2		6	14
25~29	4	2				3	3		7	5
30~34		1	1	1			4		5	2
35~39	2	1	1						3	1
40~44								1		1
45~49	1			1			1		2	1
50~54										
55~59					1				1	
60~64										
65~69				1						1
70~				1						1
合計	9	18	2	5	3	6	10	1	24	30

### 3. 薬剤耐性菌発生状況

#### 1) 採取部位別

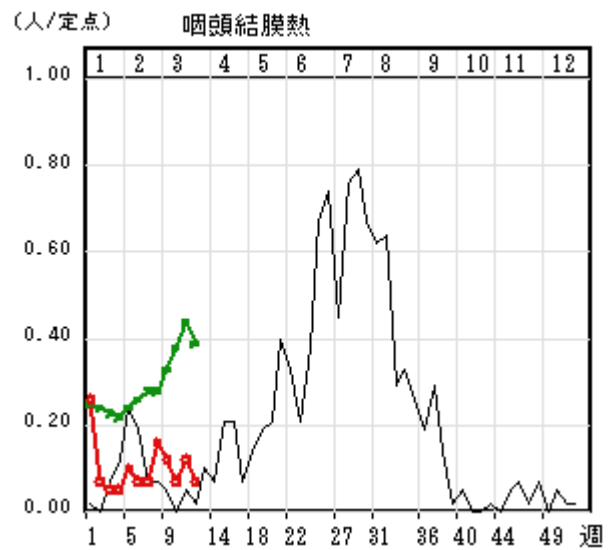
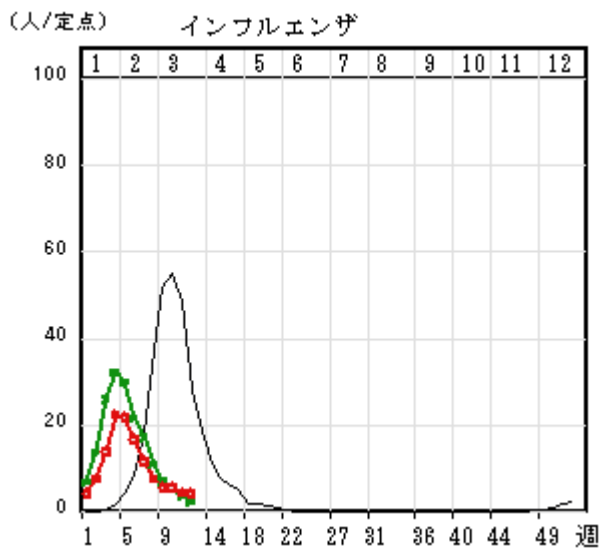
	採 取 部 位 別											青森県合計
	喀 痰	留置カテーテル	術創部(創部感染)	耳漏液	気管洗浄液	血液	髄液	胸水	腹水	膿	その他	
85 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2							1			3	6
81 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症												
86 薬剤耐性緑膿菌感染症												

4. 全数把握感染症 (2006年)

	疾患名	青森県		全国			疾患名	青森県		全国	
		当月	累計	当月	累計			当月	累計	当月	累計
1類 感染症	1 エボラ出血熱					4類 感染症	32 日本紅斑熱				
	2 クリミア・コンゴ出血熱						33 日本脳炎				
	5 ベスト						34 ハンタウイルス肺症候群				
	6 マールブルグ病						35 Bウイルス病				
	7 ラッサ熱						36 ブルセラ症				1
							37 発しんチフス				
							38 ボツリヌス症				
2類 感染症	8 急性灰白髄炎					39 マラリア			3	6	
	9 コレラ			2	7	41 ライム病					
	10 細菌性赤痢			51	108	43 レジオネラ症			11	50	
	11 ジフテリア					45 アメーバ赤痢			34	72	
	12 腸チフス			4	13	46 ウイルス性肝炎			11	19	
3類	13 パラチフス			1	4	47 急性脳炎					
	14 腸管出血性大腸菌感染症			28	81	48 クリプトスポリジウム症					
4類 感染症	18 エキノコックス症				4	49 クロイツフェルト・ヤコブ病			8	25	
	19 黄熱					50 劇症型溶血性レンサ球菌感染症			3	16	
	20 オウム病			1	4	51 後天性免疫不全症候群	1	1	42	112	
	21 回歸熱					52 ジアルジア症			3	12	
	22 Q熱					53 髄膜炎菌性髄膜炎				3	
	23 狂犬病					54 先天性風しん症候群					
	25 コクシジオイデス症					55 梅毒	1	1	19	58	
	27 腎症候性出血熱					56 破傷風			1	4	
	28 炭疽					58 パンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	4	8	
	29 つつが虫病			4	9						
	30 デング熱			4	8						

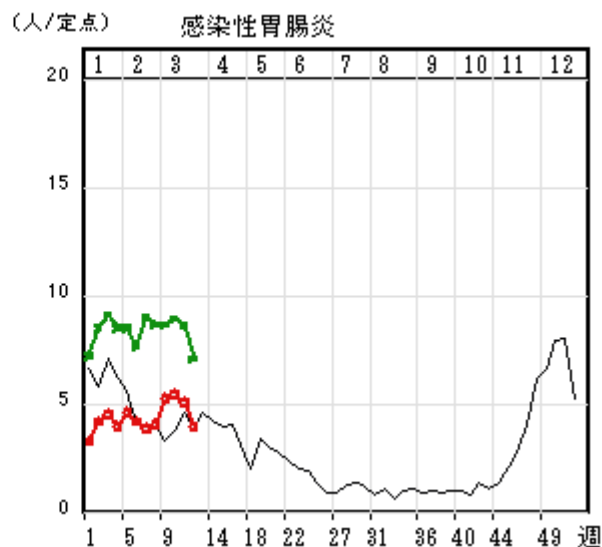
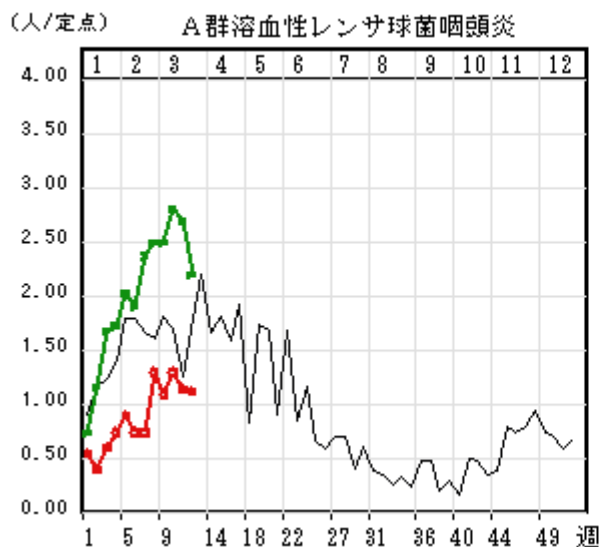
5. 定点把握感染症の推移

○—○ : 当年(青森県)    — : 前年(青森県)    ×—× : 当年(全国)

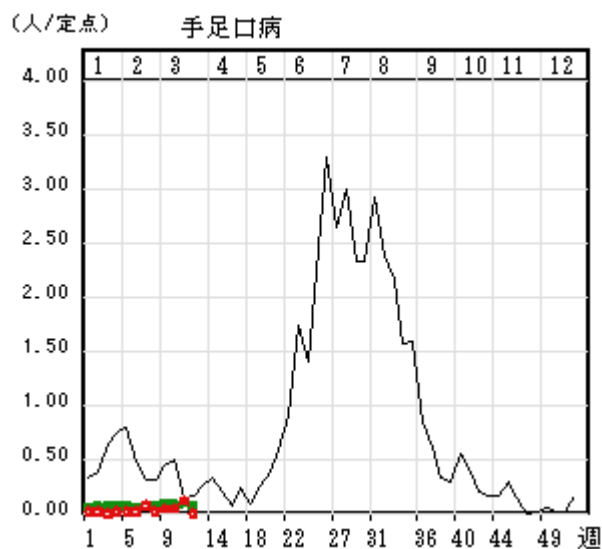
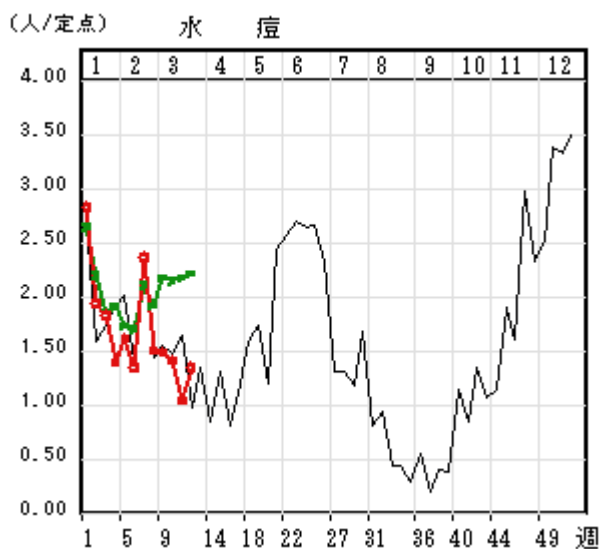


インフルエンザは、減少傾向にあります。咽頭結膜熱は、全国値を下回って推移しています。

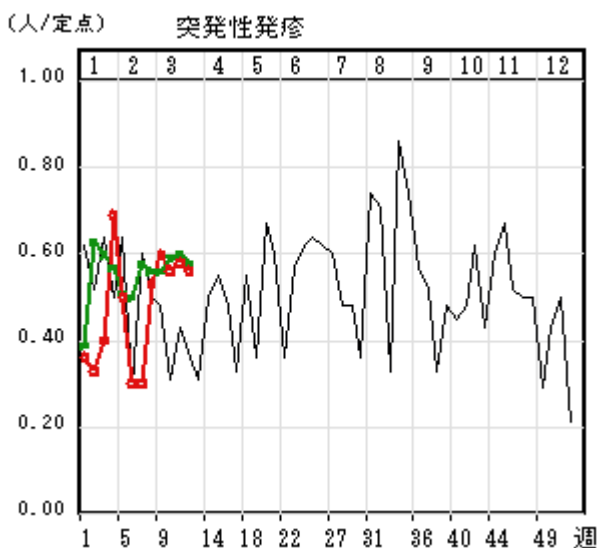
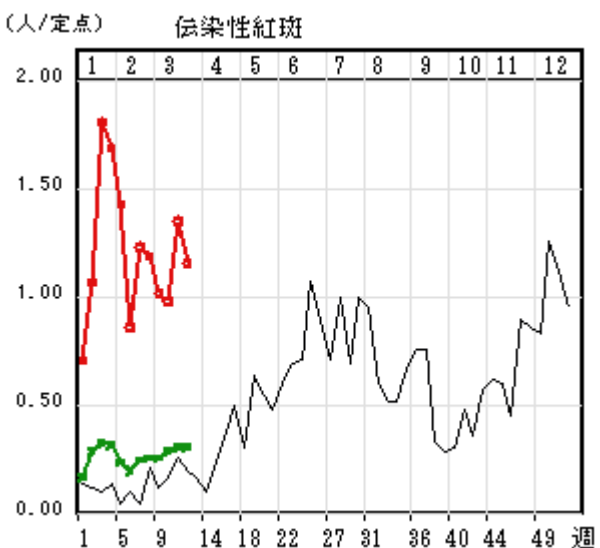
○—○ : 当年 (青森県)    — : 前年 (青森県)    ×—× : 当年 (全国)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎とも全国値を下回って推移しています。

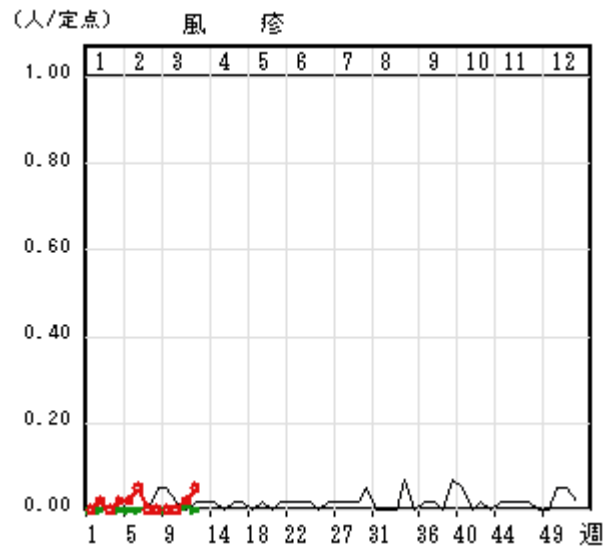
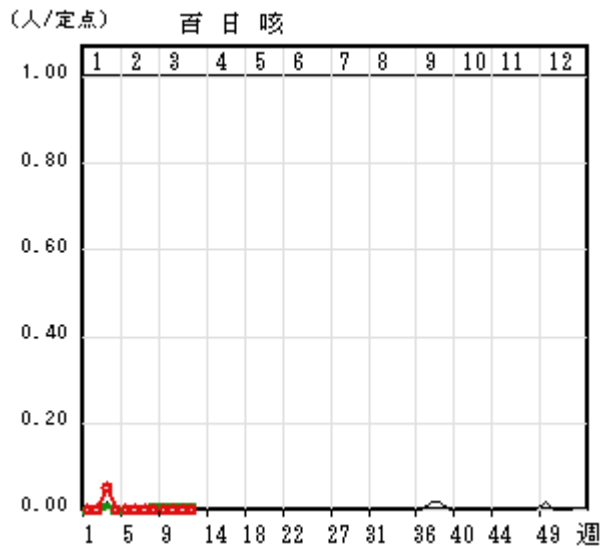


水痘は、ほぼ前年と同様に推移しています。手足口病は、当月中9件の発生報告がありました。

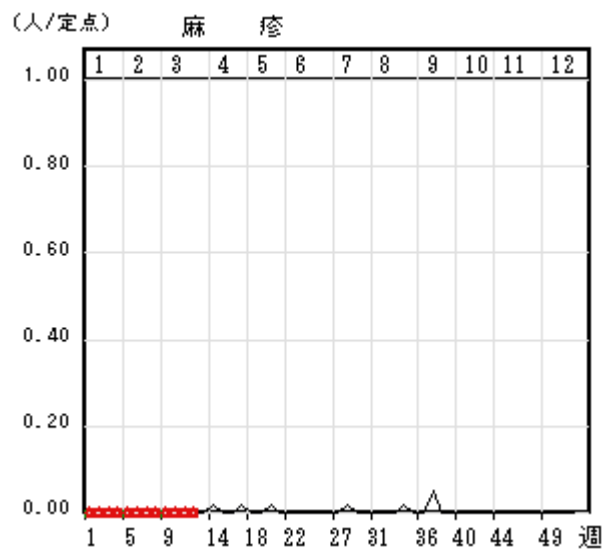
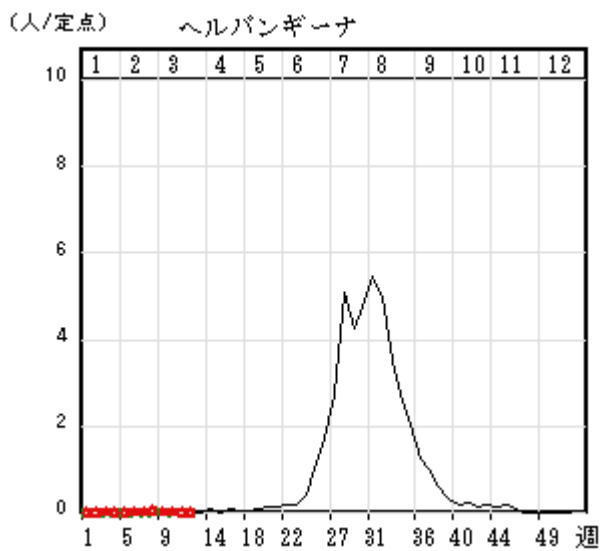


伝染性紅斑は、全国値を上回って推移しています。突発性発疹は、第10週から横ばい傾向にあります。

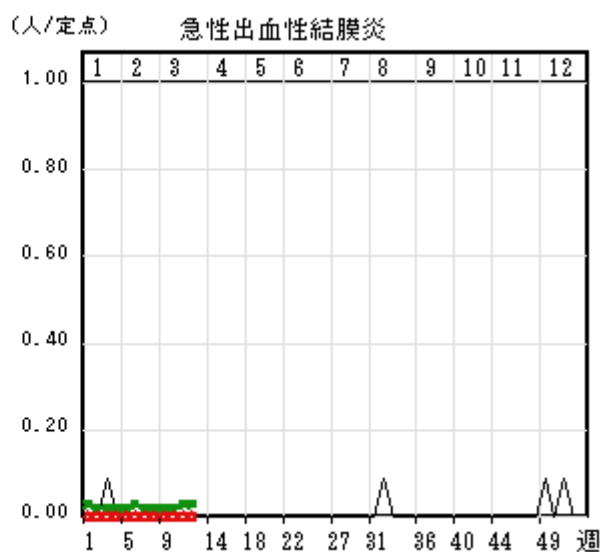
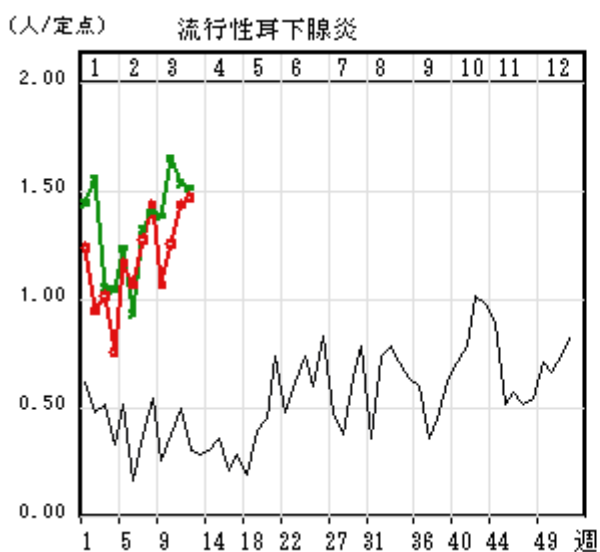
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



百日咳は、当月中の発生報告はありませんでした。風疹は、当月中3件の発生報告がありました。

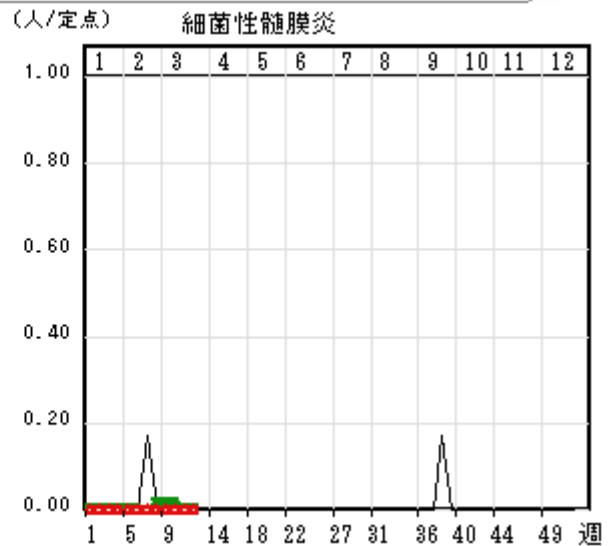
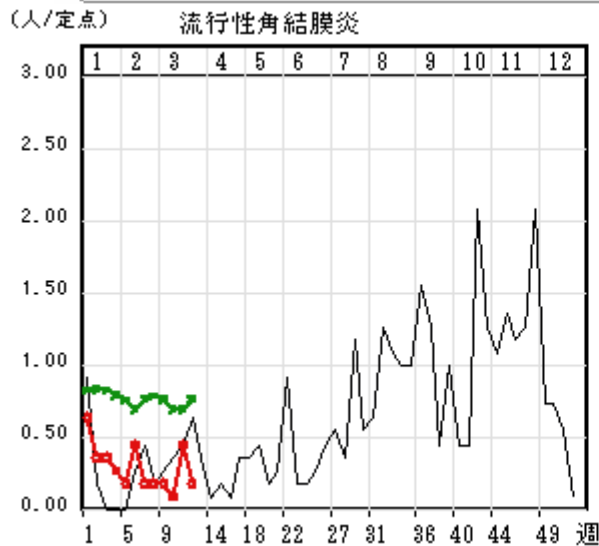


ヘルパンギーナは、当月中4件の発生報告がありました。麻疹は、当月中の発生報告はありませんでした。

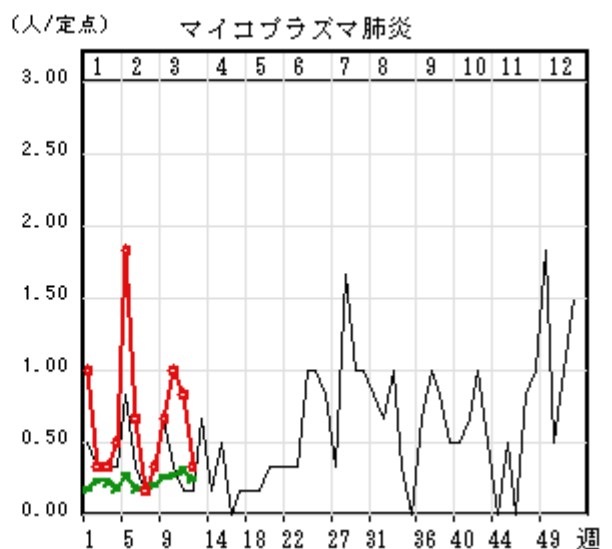
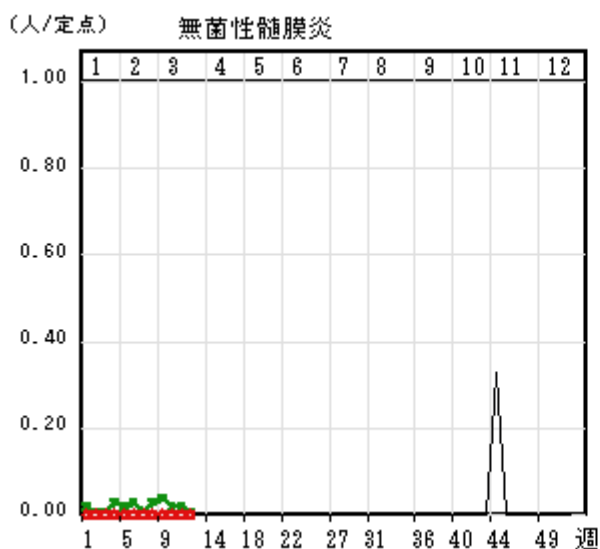


流行性耳下腺炎は、増加傾向にあります。急性出血性結膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。

○—○：当年（青森県） ———：前年（青森県） ×—×：当年（全国）

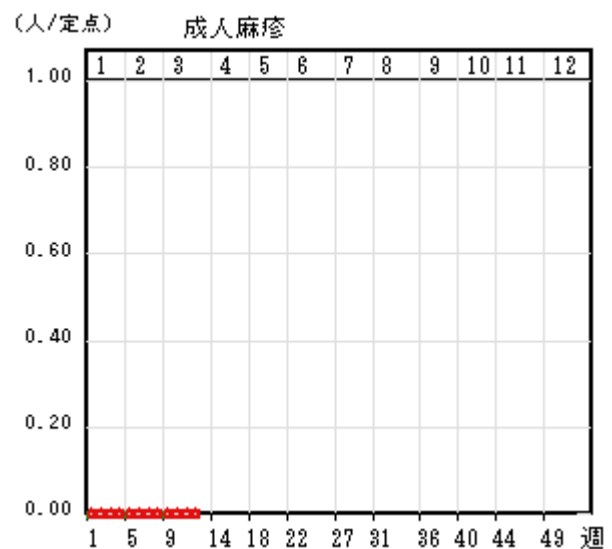
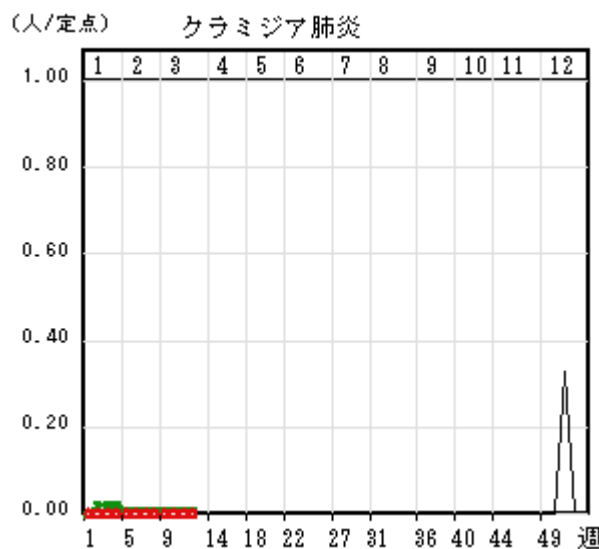


流行性結膜炎は、ほぼ前年と同様に推移しています。細菌性髄膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。



無菌性髄膜炎は当月中の発生報告はありませんでした。

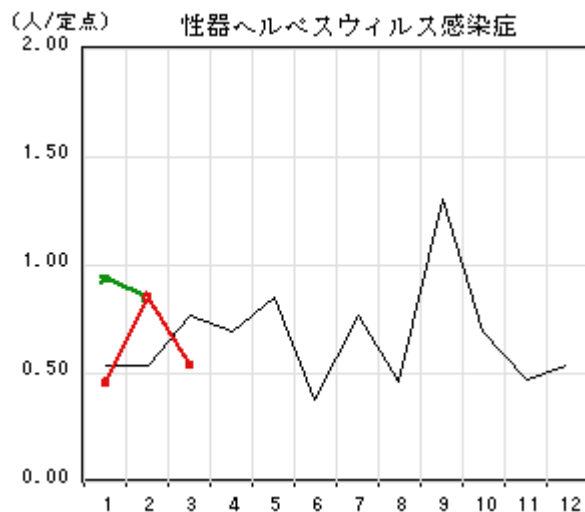
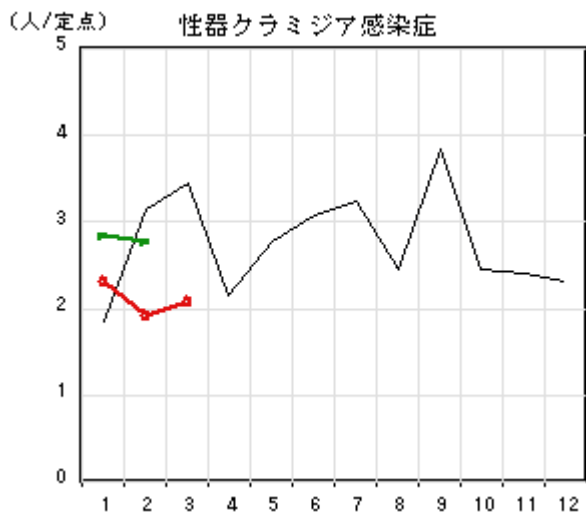
マイコプラズマ肺炎は、減少傾向を示しているものの全国値を上回って推移しています。



クラミジア肺炎、成人麻疹とも当月中の発生報告はありませんでした。

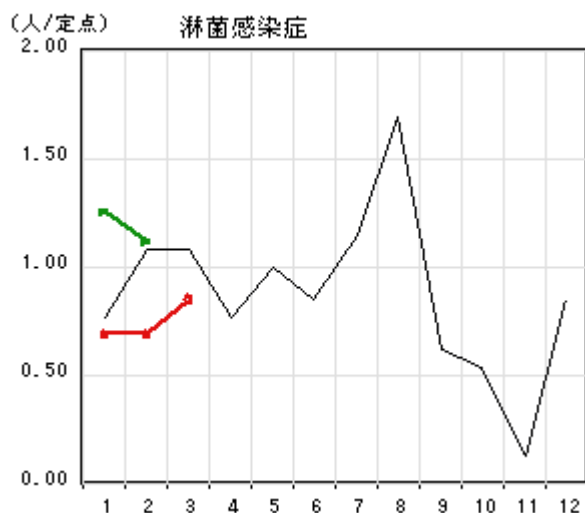
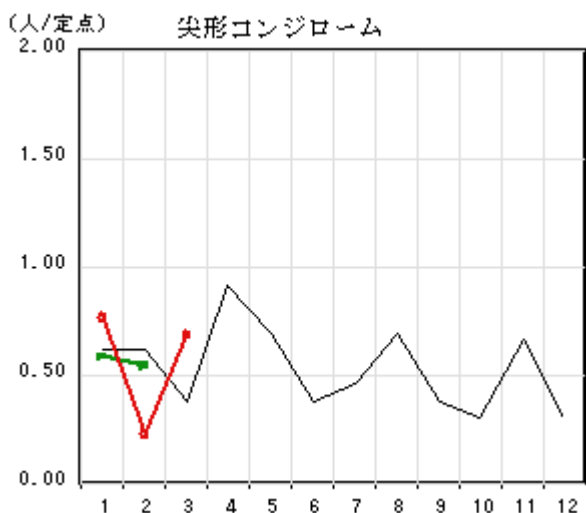
## 6.STD 感染症の月別推移

○—○ : 当年 (青森県)    — : 前年 (青森県)    ×—× : 当年 (全国)



性器クラミジア感染症は、前年値を下回って推移しています。

性器ヘルペスウイルス感染症は、やや減少しました。



尖形コンジロームは、増加傾向に転じました。

淋菌感染症は、前年より低く推移しているものの増加傾向にあります。